

R7 学校評価用アンケート(学校教育自己診断)【生徒用】

()年 ()組

・各設問について、右の基準により、回答欄の当てはまる番号のところに○印を入れてください。
・各設問で**C・Dを選択した場合のみ**、できる限り学校を改善するための「提言」や「ご意見」を各設問の下段にご記入ください。なお回収後、開封は管理職で行います。

基準	
A	大変思う
B	思う
C	あまり思わない
D	まったく思わない
E	わからない

回答数 79 / 86

	せつ 設	もん 問	A	B	C	D	E
1		学校に行くのが楽しい。 ()	39	25	5	4	6
2		先生はわたしたちのことを大切にしている。 ()	47	23	2	1	6
3		将来の進路や、生き方について考える機会がある。 ()	48	25	1	1	4
4		先生はいじめについて、私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。()	46	19	2	0	12
5		担任の先生以外にも保健室等(担外、SSW、臨床心理士等)、気軽に相談することができる先生がいる。()	35	24	4	1	15
6		命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。 ()	49	26	1	0	3
7		学校行事(すながわ祭、スポーツ大会等)は楽しく行えるように工夫されている。()	52	20	1	0	6
8		学校は1人1台端末(タブレット端末やパソコン)を効果的に活用している。()	51	23	2	0	3
9		先生は私たちの障がいについて、よく理解してくれている。 ()	47	21	2	0	9
10		学校への意見、要望等がありましたら、記入してください					

回収率 92%

肯定回答 AB			
R07	R06	前年比	R05
81%	90%	−9	81%
89%	90%	−1	92%
92%	94%	−2	87%
82%	77%	5	90%
75%	77%	−2	69%
95%	99%	−4	89%
91%	93%	−2	86%
94%	92%	2	86%
86%	89%	−3	82%

学校評価用アンケート(学校教育自己診断)

資料 2-1

【生徒用】

	提言や意見			
1	・そもそも行きたくない楽しことがない ・他クラスと陰悪なまま ・なんとなく 個人情報なので ・体育があるから	・楽しくない ・あまり好きではないからです。 ・おもんない	・ストレスが溜まる、朝早起きしないと 間に合わない	・友達と一緒に学校行ったら、イライラがする
2	・相談とかしても党回したいようしてく	・すぐ怒ってくるから		
3	・実感が湧かない	・自分が悪いみたいなこと言ってくる		
4	・軽くあしらうことある			
5	・分からない。 ・そんなに使うことがない	・一回しか話していないからです ・居ないから		
8	・各教科によってPCを使う頻度に差が あるから			
9	・苦手なところをもう少し理解してほしいとします。			
10	・特にありません。 ・私が困っていたら、助けてください。	・専門の行く廊下の男子トイレを早く治してください 校長に話しました	・携帯使いたい、スポーツ大会で借り物競争したい、	・クラブを増やして欲しい、バレー部とか
	・生徒会があまり機能していないので機能するように頑張らないと！	・楽しい行事やただ遊ぶだけの授業を増やしてほしいです	・昼休みの過ごし方で何かの活動を行いたい	・自販機にレモンスカッシュを追加、トイレの修理、手洗い場の水道の修理、晴れの日コースの階段に屋根をつけてほしいこと、カーテンのかけ換え、
	・いっぱいある ・楽しい	・この学校を愛してる ・休日の時に学校を無しにしてほしい	・水飲み場付近に電子レンジつけてほしい ・学校のトイレをきれいにしてほしい	・汁すてが欲しい、ストーブが欲しい、トイレ消毒と消臭剤、空気清浄機が設備されてほしい トイレ明るくしてほしい

R7 学校評価用アンケート（学校教育自己診断）

【保護者用】

学校評価用アンケート（学校教育自己診断）

【保護者用】

() 年 () 組

・各設問について、右の基準により、回答欄の当てはまる番号のところに○印を入れてください。

・各設問で **C・Dを選択した場合のみ**、できる限り学校を改善するための「提言」や「ご意見」を各設問の下段にご記入ください。 **なお回収後、開封は管理職で行います。**

基 準
A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回答数 53 /86

	設 問	A	B	C	D	E
1	子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。 ()	26	21	1	2	3
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。 ()	18	26	3	0	6
3	学校の生徒指導の方針に共感できる。 ()	26	24	0	1	2
4	学校は、将来の進路について適切な指導を行っている。 ()	31	21	0	0	1
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。()	29	16	0	1	7
6	学校は子どもに生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。()	34	16	0	0	3
7	学校は教育情報について、提供の努力をしている。 ()	33	17	0	0	3
8	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。 ()	38	11	3	1	0
9	学校は、子どもの障がいについてよく理解している。 ()	22	27	2	0	2
10	学校へのご意見、ご要望等がありましたら、ご記入ください。					

回収率 62%

肯定回答 AB			
R07	R06	前年比	R05
89%	93%	-4	91%
83%	84%	-1	80%
94%	86%	8	93%
98%	96%	2	94%
85%	75%	10	83%
94%	91%	3	96%
94%	90%	4	93%
92%	96%	-4	93%
92%	90%	2	86%

提言や意見			
1	・授業内容への戸惑い	・自分が苦手な事をする事が多いため	・校長先生や教頭先生に不安がある。同級生にも不安と恐怖かない。
2	・理解力の問題。教科による	・授業に関してはあまり話さないから	・楽しくはあるが、本人の理解が追いついていないことがあるため。
5	・校長先生、教頭先生以外の先生方は一生懸命してくれてる。それでも、何も解決しない！してない！校長教頭以外の先生にばかりさせて！！		
8	・仕事しているので休めない日に限って行事があるから、絶対に学校に行かないと行けない時しか参加できてません	・子どもから、来てほしくない、来なくてもいいと言われました	・仕事のため
9	・担任の先生と子供との真剣な会話のなかで「話噛み合えへんな〜」とか「日本語めちゃくちゃで」と言われ子供が先生の言葉に傷ついて自信をなくして気にしています。先生として言葉の選択が間違ってると思います。子供の障害について配慮がされていない気がして残念です。		
10	・みんなそれぞれ色々な障害を持たれてると思います。本人が気付けて気を付けようと思う子や、やはり何回言っても理解できない子もいてると思います。(それが障害だと思います)今までの生活の中でいっぱい傷ついて生きてきたと思います。就職の支援も大切だと思いますが、もう少し自分の障害と向き合うとか、難しい所だと思いますがその障害を乗り越えて行く力をつけて行けるように何か考えて欲しいかなと思っています。やはり先生にももう少し障害の事をわかってもらえたらなと思います。		
	・将来の仕事も大事でしょうが、病気や障害があろうがなかろうが、人間として人の痛みや悲しみがわかるように、自分の意見ばかり通るんじゃないよ！！ってのもちゃんと親にも子どもにも教えていかなあかんのが学校の教育方針じゃないんですか？保護者が怖いですか？地位がそんなに大事ですか？自分が教師になったらと言う初心の心はありますか？それを果たさせてますか？ただ卒業させたらいいってもんじゃないですよ！		

【教員用】

基 準
A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回収率	100%
-----	------

回答数 43 /43 肯定回答 AB

	設 問	A	B	C	D	E
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。 ()	20	20	3	0	0
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。 ()	11	24	3	0	5
3	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。 ()	19	17	3	2	2
4	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導をおこなっている。 ()	19	20	0	0	4
5	いじめの(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。 ()	18	16	4	2	3
6	教育相談体制が整備されており、生徒と学級担任以外の教職員とも相談することができる。 ()	17	20	3	0	3
7	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。 ()	14	22	3	1	3
8	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。 ()	11	25	3	0	4
9	生徒の人権を尊重し、日常的教育活動を行っている。 ()	21	18	2	1	1
10	学校への意見等がありましたら簡潔にご記入ください。					

R07	R06	前年比	R05
93%	98%	-5	96%
81%	91%	-10	93%
84%	93%	-9	91%
91%	91%	0	100%
79%	98%	-19	100%
86%	95%	-9	96%
84%	98%	-14	98%
84%	95%	-11	96%
91%	98%	-7	100%

提言や意見			
1	・情報共有をもっと広く行う	・教職員の話し合いよりも、学校全体が校長のわがままに振り回されている。	・教員の時間的、精神的余裕のある環境設定
2	・活かすものがあれば活かすようにする	・様々な取り組みが増えているが、校長は見にこないので評価できるわけがない。	
3	・カウンセリングの免許を持っていないので、難しく感じている	・管理職に相談せずに学年主導で行った方が失敗しにくい。	・取り組み内容や課題の提示方法の見直し
5	・委員会に情報が上がるシステムを確立する	・2年生では本人への聞き取りをちゃんと行わないまま保護者を呼び出してトラブルになったと聞いている。	・管理職等が中心となってもまず検討すべき
6	・学年に任せすぎているので、管理職もスピード感を持って指示を出してほしい。	・生徒指導問題に対する指導のマニュアル化 指揮系統の確立	
	・情報共有のしすてむつくり	・そもそもほとんどが学級担任である。	
7	・生徒の魅力より、校長の思いつきが優先されている。	・新たな行事を導入する際は、必ず教員とともに検討すること	
8	・首席が広報の中心になってブログ等を上げてはどうか？		
9	・2年生では校長の考えた対応が失敗して生徒は不登校になっている。それについて管理職が真摯に対応した方がよい。	・教員は人権を意識しているが、校長は生徒をあだ名で呼ぶなど、人権意識の低さが見受けられる。	・現在の生徒の実態に見合った取り組み内容や関わり方の見直し
10	・創立10年を超えたので、いろいろなシステムの見直しをしてもいいと思います	・淡々と仕事をしていれば、楽しい学校であるはずなのに、余計なことをし過ぎているのではないですか？来年度から個別の支援計画・指導計画の様式が大きく変わることについて、なぜ管理職からのアクションがないのですか？全体周知もありません。公文書の管理をやめたのですか？	・職員室の雰囲気の良いくないです
	・体育館一階の男子トイレが、長期間使用不可の状態である為、改善してほしい	・朝の職員朝礼、学年連絡会があった方が良いのではないかと思います。	

ご協力ありがとうございました。

令和 7 年度「学校教育自己診断」の結果と分析

○令和 7 年 12 月、生徒、保護者、教員を対象に実施。生徒 92%、保護者 62%、教員 100%の回収率であった。昨年度の保護者の回収率が 76%から大幅に減少した。回答率を上げるために、案内プリントの配付 2 回、マメールでの通知 2 回、授業参観での声掛けも行ったが、回答率アップにはつながらなかった。

○生徒・保護者アンケート

【進路指導等】

「将来の進路や、生き方について考える機会がある」「学校は将来の進路について適切な指導を行っている」の質問では、肯定的評価が生徒 92%で昨年度より 2%減、保護者 98%で 2%増加している。進路指導のてびきや進路だより、卒業生の活躍リーフレットを使った進路学習、HRでの指導、企業や関係機関による出前授業を積極的に実施、生徒の意識に残る授業ができた。また、実習報告会での生徒の成果報告のようすや、福祉懇談会に向けた事前学習を家庭と連携して丁寧に行ったことなどが、保護者のポイント増加につながったといえる。

【生徒理解、人権教育等】

「命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある」の肯定的評価は、95%で 4%減、保護者は 3%増加している。同和問題や L G B T Q などに関する出前授業を昨年度に引き続き実施した。

「学校はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる」については、生徒が 82%で 5%増、保護者が 85%で 10%増加した。道徳の授業においても、いじめゼロ宣言やいじめの傍観者について考えるグループワークなど、事例を挙げて自分事と感じられるような教材に取り組んだことが、ポイント増加につながった。

【ICT】

「学校は 1 人 1 台端末を効果的に活用している」は生徒の肯定的評価 94%で昨年度より 2%増であった。教科によらず、教員が授業でスライドを使用して説明するのが定着している。また、生徒自身も学習アプリの利用したり、調べ学習に使用したりするなど、各教科の授業の中で日常的に ICT を活用していることが、ポイント増加につながった。

【教員アンケート】

昨年度は、全項目において肯定的評価が 90%以上であったが、今年度は「学校の教育活動について、教職員的に話し合っている」「生徒 1 人ひとりが興味・関心、適正に応じた進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている」「生徒の人権を尊重し、日常の教育活動

を行っている」の３項目のみ 90%以上をキープした。「いじめの（疑い）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる」の項目は 19%と大幅の減少となった。いじめの初期対応マニュアルの事象が起きた際の報告・連絡・相談体制の確認その他の項目でポイントが減少した。生活指導部より提示される生徒指導内規に加え、4 月の職員会議や職員連絡用ツールを用いて、管理職より「いじめの初期対応マニュアル」、「保護者等連携のてびき」を発信し、マニュアルに基づいた対応を周知したが、アンケート結果を見るとアウンスが不十分であったと言える。研修等の機会を増やすなど対応を考え、教員個々の対応力を高めていく必要がある。

アンケート結果全般を通じて、教員間の情報共有、管理職からの情報発信に課題があることが読み取れる。また、昨年度の 12 月より職員朝礼をなくし、担任全員がクラスでの自立活動に参加する時間を確保した。そのメリットデメリットを検証し、情報共有のあり方について再考する必要がある。

また、生徒アンケートにおいて「学校に行くのが楽しい」の項目が 9%と大幅に減少していることは看過できない。生徒自身が楽しく学校へ通えるよう、これまでの行事や学習内容を精選していく必要がある。取り組み内容の趣旨や、発達段階に応じて身につけていくべき力を再確認したうえで、生徒が主体的に参加できる魅力的な取り組みを考えていかなければならない。